

(別紙)

## 令和5年度デジタル技術を活用した障害福祉サービス事業所等支援事業 事業報告書

自治体名

東京都

### 【基本情報】

フリガナ	カワシオガワイシャトモノエ
法人名	株式会社トモノエ
フリガナ	ハッタツエンドモノエカハラキヨウジツ
事業所名	発達支援トモノエ久が原教室
提供サービス（複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択）	
放課後等デイサービス	
職員数（常勤換算数）【「全職員の月間勤務時間数」／「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出（産休・育休・休職は除く）】	6.2人
ICT機器等導入完了日	令和5年10月20日

※行・列の追加は行わないでください。

### （1）モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行ってい
職員間の情報伝達・情報共有	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行ってい
請求業務	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行ってい
勤怠管理	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行ってい
シフト表作成	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行ってい
給与業務	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行ってい

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。

- ①ICT機器等を導入していない（紙のみで対応）
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している（紙とICT機器等で対応）
- ③ICT機器等を導入・活用している（全てICT機器等で対応）

### （2）モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台数	備考
①パソコン	①作業の迅速化	FMVD5405JP ESPRIMO D7012 273V7QDAB/11	1	富士通
①パソコン	①作業の迅速化	A6BCHVFALB75 db B65HV	3	Dynabook

※「ICT機器等の種別」については次のの中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。

- ・情報端末等・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
- ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
- ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター

なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次のの中から特に該当する番号を選択してください。

- ①作業の迅速化（支援記録の作成など）
- ②情報の共有化（職員間の情報伝達・情報共有など）
- ③業務の統合化（請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など）
- ④その他

なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

(3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C.1件当たりの平均処理時間 D (B×C)	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり業務時間 (D/業務従事者数)	備考
		A.ひと月当たり発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	6人	440 件	5,280 件	20 分	1,760 時間	#VALUE!	
③請求業務	6人	440 件	5,280 件	15 分	1,320 時間	#VALUE!	
⑦その他	6人	440 件	5,280 件	20 分	1,760 時間	#VALUE!	
⑤シフト表作成	2人	15 件	180 件	15 分	45 時間	23 時間	
			0 件		0 時間	#DIV/0!	
		1,335 件	16,020 件	70 分	4,885 時間	#VALUE!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。

なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1> A. ひと月当たり発生件数の算出方法

1日利用者10名、週5日稼働でひと月の概算

<※2> C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

HAGシステムを導入しており、支援記録や個別支援計画書、請求に関わるデータ管理などの情報が一元化管理できているが、新入社員5名の入社が確定しており、

HUGシステムに使用に必要な端末機が不足する状況である。

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C.1件当たりの平均処理時間 D (B×C)	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり業務時間 (D/業務従事者数)	備考
		A.ひと月当たり発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	10人	440 件	5,280 件	13 分	1,100 時間	110 時間	
③請求業務	10人	440 件	5,280 件	6 分	554 時間	55 時間	
⑦その他	10人	440 件	5,280 件	10 分	880 時間	88 時間	
⑤シフト表作成	10人	15 件	180 件	10 分	30 時間	3 時間	
			0 件		0 時間	#DIV/0!	
		1,335 件	16,020 件	39 分	2,564 時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。

なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1> A. ひと月当たり発生件数の算出方法

1日利用者10名、週5日稼働でひと月の概算

<※2> C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

HAGシステムを導入しており、支援記録や個別支援計画書、請求に関わるデータ管理などの情報が一元化管理できているが、新入社員5名の入社が確定しており、

HUGシステムに使用に必要な端末機が充足した状況での計算。

年間業務時間数削減率 (%)

47.5%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
連絡帳	440 ページ	5,280 ページ
		0 ページ
		0 ページ
	440 ページ	5,280 ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
連絡帳	275 ページ	3,300 ページ
		0 ページ
		0 ページ
	275 ページ	3,300 ページ

年間作成文書量削減率 (%)

37.5%

#### (4) ICT機器等の導入効果

##### ① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

導入前は6人で行っていた作業を10人に分担することが出来たため、効率よく分業し、残業が軽減された。

見積もりなどをとるなどの工程が大変で時間がかかってしまった。

PCは導入業者の販売したいものベースなので、どのスペックが良いかの確認にも時間がかかりました。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか（事業所内の推進体制、外部への相談など）を記載してください。

また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

##### ② ICT機器等の導入による業務の変化（複数選択可）

###### 情報端末導入による効果

- 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
- 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
- 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。
- 4 利用者の情報を一元管理できるようになった。
- 5 その他の効果があった。
- 6 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

###### ソフトウェア導入による効果

- 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
- 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
- 3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
- 4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
- 5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
- 6 その他の効果があった。
- 7 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

##### ③ ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

導入前は6人で行っていた作業を10人に分担することが出来たため、効率よく分業し、残業が軽減された。

事務時間が減り支援計画に時間を費やすことができた。

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、具体的に記載してください。

##### ④ ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

支援計画、活動計画、環境整備（清掃）、MTG時間の確保

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

#### (5) ICT機器等の導入による費用面での効果

ICT機器等の導入による費用の縮減 有

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

縮減額（円）	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当（※1）	有
サービスの質の向上に係る取組への充当（※2）	無

（※1）「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

清掃の時間を以前より確保することができ、職員も意識するようになった。

（※2）「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。

支援計画書や活動計画書を作成するにあたり、職員間でのMTG時間が確保され、今までより活動のアイデアが広がった。